

第 21 回 運営推進会議資料

令和 8 年 9 月 15 日

デイサービスセンターみのり

1、運営推進会議開催について

1. 管理者の挨拶

2、運営推進会議構成員の紹介

3、利用登録状況

4、ケアプラン連携システム稼働状況

5、レクリエーション実施状況と予定

6、研修・会議の実施報告等

(事故・ヒヤリハット苦情報告について)

(満足度アンケート結果)

7、評価及びご意見について

8、次回のご案内

9、閉会の挨拶

1) 第21 デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催について

日 時：令和8年9月15日 13:30～14:00

場 所：デイサービスセンターみのり

1. 管理者からの挨拶
2. 自己紹介

2) 【運営推進会議構成員出席者】

1. 利用者代表：1名
2. 老人福祉員：1名
3. 民生児童委員：1名
4. 包括支援センター：2名

【デイサービスセンターみのり関係出席者】

1. 管理者 1名

3) 利用登録者概要

◆ご利用状況とご利用者の特徴

1. 施設入所などで登録者数が減っています。
2. 登録者数は減少していますが、増回希望があり稼働率は維持されています。
3. 利用目的を理解されている方や必要性の高い方が多く、お休みされる方が少ない。

令和8年9月1日現在

登録者数	17名（現在90%の登録があり残り5枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（3名）要介護2（8名）要介護3（4名） 要介護4（1名）要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（0名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（10名）火（9名）水（8名）木（8名）金（10名）

前回令和8年3月1日（前回6ヶ月前の状況）

登録者数	19名（現在94%の登録があり残り3枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名）要介護2（7名）要介護3（5名） 要介護4（1名）要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（0名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（10名）火（9名）水（8名）木（10名）金（10名）

4) ケアプラン連携システム稼働状況

ケアプランデータ連携システムは、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）と介護サービス事業所との間で毎月交わされるケアプラン情報（サービス提供票の予定・実績など）を、オンライン上で安全にデータ送信・共有するための仕組みです。

〔利用目的〕

従来、紙・FAX・郵送で行っていた事業者間のやり取りを電子化し、**介護現場の事務負担軽減**や**ICT化（情報通信技術）による業務の効率化**を図ることを目的としています。

〔主なメリットと現状〕

1. 業務効率化と作業時間の削減

印刷、FAX 送信、郵送の手間が削減されるほか、送られてきたデータを直接介護ソフトへ取り込めるため、データ手入力の手間が大幅に削減できる。

2. ヒューマンエラー（転記ミス）の防止

手入力を介さず直接取り込めるため、転記ミスや入力漏れが減少します。これにより、請求作業における返戻（やり直し）リスクの軽減につながる。

3. 印刷費・郵送代・人件費などのコストカット

用紙代・インク代・通信費（FAX/郵送費）を削減できるとともに、事務作業時間の短縮により間接的な人件費の削減が見込める。

4. セキュリティの強化と標準化

暗号化された安全な基盤上でやり取りを行うため、誤 FAX などの誤送信リスクや情報漏洩リスクを低減できます。また、フォーマットが統一されているため情報共有もスムーズです。

5. 利用者の直接ケアへ専念できる

書類作成や事務処理の時間が減ることで、利用者と向き合う時間やケアの質向上にリソースを集中できます。

〔導入と問題点〕

1. 今まで導入しなかった理由

ケアプラン連携システムは数年前から提供されていましたが、利用されている居宅支援事業所が少なく連携が出来ないなどの理由もあり導入してなかった。

2. 今年度導入開始の理由（使用料現在年間 21,000 円今後は無料化が決定）

本年度から処遇改善加算の要件にケアプラン連携システム導入が必須条件になったことで、一斉に各事業所が導入したためシステムが使えるようになった。

3. 導入後の浮かび上がった問題点

- ・使ってみるとシステムの完成度の低くさや問題点が浮かび上がってきた。
- ・単なるデータ輸送しか出来ない、実際にデータを操作出来るのは事業者のソフトウェアであって、ケアプラン連携システム上でのデータ操作は出来ない。
- ・データの流れとしては、「居宅支援事業所（ケアマネ）→各事業所→ケアマネ」となるが、ケアマネから送られてきたデータが間違っているケースが多く答え合わせに今まで以上に多くの時間が掛っている。
- ・データのアウトプットやインプットなどに時間が掛かり、訂正や保険外サービスの入力を別に行うことで、倍以上の操作が必要になっている。

今までは、提供票を見て事業所のソフトを使い前月複写で終了していた。

- ・月末処理を各事業所が一斉に行ったことで、サーバーがロックしてしまい急遽

FAX での対応を行った。

- ・多くの事業者が6月から稼働していましたが、あまりにも使いにくい為、一部の居宅支援事業所からは導入を中止すると連絡が来たこともあります。
- ・現在の状況としては、手間が増えすぎるため一部の居宅支援事業所のみでシステムを使ってのやり取りを行っています。
- ・システムを使うためには、今後居宅支援事業所とのルール作り（決め事）が必須であると感じています。（完全データ作成、全サービスのPDFなど）
- ・各ケアマネ様をお願いをして、急な変更や他のサービスが入っていないかなどを確認するために全てのサービス利用状況が確認できるようにデータと一緒に全ての提供票をPDFで送って頂くようお願いした。
- ・大前提として、居宅支援事業所から送られてくる基本データが間違っていないければ問題は、大幅に減少するが入力を担当のケアマネジャーさんではなく事務員が行っておられる場合は、どうしても急な変更などが伝わりにくいため、毎回訂正しても翌月も古いデータが送られてくる傾向があります。
- ・ケアプラン連携システムが本稼働してから日が浅いので、今後どのように改善されるかが大きな課題と思っています。各事業所も様子を伺いながら慎重に導入を考えられているようです。
- ・現状では、問題だらけのシステムと感じていますが時代の流れとしては、導入を続ける必要があると感じています。

5) 誕生日会・行事・レクリエーション

【誕生日会実施状況】

(4月2名)(5月0名)(6月0名)(7月0名)(8月5名)

- ・写真入りの色紙にお祝いのメッセージを添えてお渡し致しました。
- ・ハッピーバースデーを歌って他のご利用者からのお祝いのお言葉を頂きました。
- ・色紙を回し見ておられていました。

【レクリエーション実施状況と予定】

◆ 週替わりで様々なレクリエーションを実施いたしました。

- 5月 みんなでカラオケ/缶ボーリング/ビアポン/TVボーリング
- 6月 魚釣りゲーム/運ころがし/カレンダー作り/言葉ビンゴ/ボール落としゲーム
- 7月 テーブルテニス/輪投げ/みんなでカラオケ/カーリング
- 8月 重さ当てゲーム/カレンダー作り/★夏祭り/TVボーリング/トントン相撲
- 9月 カジノ風ゲーム/★敬老の祝い(回想ゲーム)/写真たて作り/テーブルテニス
- 10月 ゴム鉄砲的当て/★運動会/カレンダー作り/魚釣りゲーム

※ ★印は、行事や外出レクリエーション

6) 研修・会議の実施報告

【研修報告】

<令和8年4月 (BCP)非常災害時対応研修>

1. 災害後の再開に向けた基本ステップ

<令和8年4月 (BCP)自然災害時机上訓練>

1. 机上訓練実施 (想定内容: 震度6の地震発生)

<令和8年5月 (BCP)感染症対応及び予防・まん延防止研修>

1. 感染症発生後の再開に向けた行動とまん延防止対策

<令和8年5月 (BCP)感染症発生時・予防及びまん延防止机上訓練>

1. 机上訓練実施 (想定内容: 送迎～利用中に感染疑いが発生した場合の初動対応)

<令和8年6月 リスクマネジメント研修>

1. 事故防止のメカニズム
2. ヒヤリハット事例検討
3. リスクマネジメントマニュアル検討

<令和8年7月 感染症予防及びまん延防止研修>

1. アウトブレイクを最小限に抑える

<令和8年8月 虐待防止研修>

1. 虐待の定義と「グレーゾーン」

【会議報告】

1. 定例会議 (毎月: 全員参加)
2. 半年ごとに運営推進会議
3. 不定期の各種マニュアル・指針等の検討会議

<令和8年3月 感染症対策委員会会議>

1. 施設内で感染症が発生した場合の行動

<令和8年7月 感染症対策委員会会議>

1. 感染症の予防及びまん延防止検討
2. マニュアル検討

<令和8年8月 虐待防止委員会会議>

1. 「不適切ケア」の芽を摘む ～スピーチロックの防止と尊厳を守る声かけ～
2. マニュアル検討

＜ 8 月 満足度アンケート集計結果＞

実施人数：男性 2 名 女性 1 3 計 1 5 名(入院等の欠席者等を除く)

〔調査内容〕

	満足	普通	不満足	満足度
(%)				
1. ご利用内容	1 5 名			100%
2. 食事内容	1 5 名			100%
3. 送迎	1 5 名			100%
4. 入浴	1 3 名 (3 名入浴なし)			100%
5. 機能訓練	1 5 名			100%
6. レクリエーション	1 5 名			100%
7. 喫茶	1 4 名 (1 名喫茶なし)			100%
8. 職員対応	1 5 名			100%

〈アンケートの回答結果から〉

今回のアンケートにおいても満足度 100%となり、これで 10 回連続の達成となりました。 個別の聞き取りにおいても、全員から「満足している」とのご意見をいただいています。 これは、ご利用者お一人おひとりに合わせたサービスが提供できた結果だと感じております。 一番の理由は、すべてのスタッフがご利用者を深く理解し、個別に寄り添った対応を実践できたことにあります。

〈月別発生件数〉

〔 2 月：ヒヤリハット 1 件 事故 0 件 苦情 0 件〕

発生状況：認知症のご利用者がドア付近の座席に着席された後に、スライドドアが閉まるタイミングで隙間に手を差し入れてしまった。

発生原因：車外の職員は、ご利用者が着席されたことは確認したが、ドアの隙間に手を出されたことに気付かず、そのまま閉めてしまった。

対処内容：すぐにドアを開けて手を隙間から抜いたが、幸い痛みや外傷はなかった。

再発防止：今後は、ドアの開閉を中の職員が行うこととした。

〔 3 月：ヒヤリハット 2 件 事故 0 件 苦情 0 件〕

(1 件目)

発生状況：レクリエーションで制作したカレンダーを持ち帰る際に、他のご利用者のカレンダーを渡してしまった。

発生原因：帰りの送迎車で制作者が次に降りる予定だったので、渡す準備をしていたが降りる順番が急遽変更になり間違えて渡してしまった。

対処内容： 次回の利用日に、間違えてお渡ししたご利用者様へ事情を説明して回収し、本来のご利用者様へ改めてお渡ししました。

再発防止： お渡しする前に再度確認し、カバンに入るご利用者様の分はあらかじめ入れておきます。

(2件目)

発生状況：機能訓練中、椅子に座ろうとした際に座り損ね、そのままゆっくりと床に尻もちをつかれました。

発生原因：平行棒への移動中（手引歩行）、着座位置（椅子）の手前で立ち止まられた際、不意にしゃがみ込む動作をされたため、体勢の保持が困難となりました。

対処内容：近隣の職員が状況を把握し、直ちに職員2名で介助して体を安全に引き上げました。その後、患部の痛みや外傷の有無を確認いたしました。

再発防止：動作時は慌てず職員の指示を確認できるよう、段階ごとに丁寧な声かけを行い、落ち着いて次の動作へ移行していただきます。

〔4月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

発生状況：立ち上がる際に足に力が入らず、椅子に座り直そうとされましたが、うまく座れずそのままゆっくりと床に腰を下ろされました。

発生原因：椅子が後ろに下がりすぎていたため、うまく座り直すことができませんでした。

対処内容：その後の入浴時に外傷や痛みの有無を確認しましたが、特に異常はありませんでした。

再発防止：しっかりと立ち上がるまでは、すぐに座り直せるよう椅子を近くに配置しておきます。あわせて、焦らず動作できるよう声かけを徹底します。

〔6月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

発生状況：送迎でご自宅に到着後、室内の車いすへ移乗していただいた際、浅く座られた状態となっておりました。姿勢を整えるためお座り直しをサポートいたしましたが、座面からお体が滑り落ちてしまい、支えきれずにゆっくりと床へお尻をつく形となりました。

発生原因：四肢麻痺の影響で足の運びがスムーズにいかず、慎重に介助を行い移乗していただきました。その際、座位が浅くなっていたため座り直しをサポートいたしましたが、下肢に突っ張り（伸展反射等）がみられ、ご本人の力みも重なったことでスムーズな座り直しが困難な状態となりました。

対処内容：打撲等の目立ったお怪我や痛みの訴えはございませんが、念のためその後の様子にご注意いただけますようお願いいたします。

再発防止：ご利用者様の状態に合わせ、車椅子の角度を調整するなど負担の少ない体勢で座っていただけるよう臨機応変に対応いたします。また、姿勢が整う前に焦って座ろうとされるご様子が見られるため、安全に移乗できるよう丁寧な声かけを徹底いたします。

〔8月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

発生状況：椅子の裏に隠れていた為、上履きを持ち帰るのを忘れた。

発生原因：帰る時に上履きから外履きへ履き替えたあと、脱いだ上履きを「その場ですぐカバンに入れること」を忘れてしまったため。

対処内容：送迎担当者に連絡して「忘れたこと」と「次回にお返しすること」を連絡帳に書いてもらうよう頼んだ。

再発防止：認知症の方などは、履き替えたら本人任せにしないで確認を行う。

<評価やご意見があればご記入ください>

【管理者】

ケアプランデータ連携システムについては、現時点でシステムの不具合や、各居宅介護支援事業所との運用上の取り決めなど、いくつかの課題が存在しています。

(包括支援センター)

対象の方が地域包括支援センター（予防給付・総合事業）のご利用であり、サービス提供票のやり取りが発生しないため、運用上のトラブルが生じる可能性は低いと考えております。

【老人福祉員】

毎回ちゃんとして頂いているので問題ないと思います。

【民生児童委員】

母が施設からデイサービスを利用しており、以前見学にも訪れていたため、全体的な雰囲気やサービス内容については概ね把握・理解しておりました。今回の参加を通じても、想定通りの印象を受けました。

【ご利用者】

いつもちゃんとして頂いて助かっています。これからもよろしくお願いします。

【包括支援センター】

送迎時を含め、これまでに交通事故等の発生事例はありますか？

【管理者】

開所以来 14 年間、事故は一度も発生していません。差し支えなければ、ご質問の意図をお伺いできますか？

【包括支援センター】

こちらの場所は交通量が多く、交差点に面しているため事故のリスクが高いのではないかと懸念しておりました。14 年間無事故というのは素晴らしいですね。ちなみに、ご利用中の骨折や重大な事故なども起きていないのでしょうか？

【管理者】

骨折や大きな怪我などの事故も一度も起きておりません。

【地域包括支援センター】

14 年間無事故を継続できている背景には、何か良い要因があるのでしょうか？

【管理者】

小規模なデイサービスのためご利用者の人数が限られていること、そして職員の定着率が高く長期勤続者が多い点が大きいと考えております。職員がご利用者一人ひとりの特徴や変化を深く理解しているため、事故に繋がりそうな変化や予兆にも素早く気づいて対応できています。また、職員側だけでなくご利用者からも『普段と違うこと』があればすぐに伝えて頂けるような、風通しの良い環境や信頼関係が構築されていることも要因と感じています。

【包括支援センター】

車椅子と独歩の割合はどの程度ですか？

【管理者】

2 割程度です。

【包括支援センター】

外出レクリエーションは行かれていますか？

【管理者】

花見や紅葉狩りなど年に2～3回程度行きます。

【民生児童委員】

インフルエンザが流行していますが、こちらの状況はいかがですか？

【管理者】

現在のところ、ご利用者様やご家族も含め、感染の報告は受けておりません。対策として、コロナ感染症の流行以降、手洗いやアルコール消毒の徹底、職員・ご利用者様全員のマスク着用を継続して行っています。

【管理者】

本日はご協力いただき、本当にありがとうございました！次回は4月頃の開催を予定しております。その際にはぜひまたご参加いただけると嬉しいです。今後ともどうぞよろしくお願いします。

※ 次回の第22回運営推進会議は、令和9年4月頃を予定しております。

今後ともご協力宜しくお願い致します。

◆ 管理者より閉会の挨拶